

参加者の声

こんな方におすすめ！

- ・国内ヤンプロでの学びを、国際場で試す次のステップを求めている方
- ・国際標準化の会議を、TC/SC会合の現場で**実際に見て理解したい方**
- ・多国籍の参加者と議論し、発表・投票まで含めた**国際会議の一部を体験したい方**
- ・海外で、**日本として・自分としての立ち位置を考える経験を積みたい方**
- ・英語を用いて、**国際交渉に一步踏み出したい方**

1. 国内研修での学びを、国際場で確かめられた



国内ヤンプロで学んだ標準化の基礎知識やロールプレイでの経験が、IECYPの議論やブレイクアウトの場でそのまま活かせました。**国内研修での座学と海外研修での実践が、一本の流れとしてつながっていることを実感しました。**



2. TC/SC会合を「実際の議論」として見ることができた

TC/SC会合を傍聴し、各国の意見がどのように出され、整理され、合意に近づいていくのかを**実際の会議の流れの中で理解**することができました。国際標準化が「資料上のプロセス」ではなく、**人が議論して決めていく場だと実感**しました。

参加者の声



3. ブレークアウトから発表・投票までを一連で経験

ブレークアウトセッションでは、多国籍の参加者と少人数で議論し、グループとしての意見をまとめ、発表につなげるプロセスを経験しました。最終的にIEC General Meetingの場で発表や投票まで行われ、国際会議の一部を体験できたことが印象に残っています。



4. 多国籍の中で「日本の立場」を意識するようになった

アジア、欧州、アフリカ、南米など、さまざまな地域から参加者が集まり、発言の仕方や議論の進め方が国によって異なることを体感しました。その中で、「日本としてどう見られているか」「自分はどの立場で話すのか」を自然と意識するようになりました。



5. 英語は不安でも、発言することで得られるものがあった

研修前は英語での議論に不安がありましたが、実際には完璧な表現よりも、発言しようとする姿勢が重視されていると感じました。議論に参加することで、国際会議に対する心理的なハードルが大きく下がりました。

